

ONKYO
IMAGINATIVE SIGHT & SOUND

INTEC
205
COMPONENT WORLD

INTEC 205 Collection



Premium Sound



●プリメインアンプ
A-905(S) 標準価格¥28,000(税別)



●プリメインアンプ
A-909(S) 標準価格¥35,000(税別)



●プリメインアンプ
A-909LTD(S) 標準価格¥39,000(税別)



●CDプレーヤー
C-705(S) 標準価格¥27,000(税別)



●CDプレーヤー
C-705LTD(S) 標準価格¥38,000(税別)



●3ディスクCDチェンジャー
C-707CH(S) 標準価格¥37,000(税別)



●MDデッキ
MD-105(S) 標準価格¥49,000(税別)



●オートリバース・カセットデッキ
K-505(S) 標準価格¥30,000(税別)



●FM/AMチューナー
T-405W(S) 標準価格¥16,000(税別)



●グラフィックイコライザー
EQ-205(S) 標準価格¥20,000(税別)



●2ウェイスピーカーシステム
D-062A 標準価格¥18,000(2台1組・税別)



●2ウェイスピーカーシステム
D-102AX 標準価格¥48,000(2台1組・税別)



●2ウェイスピーカーシステム
D-102AXLTD 標準価格¥58,000(2台1組・税別)

持つことの誇りと喜び

デザインや機能性にこだわって手に入れた、飽きのこない本当にいいものを所有することは満足や安心感とともにある種の誇りを持ち続けることでもあります。

インテックシリーズ。50余年にわたって本物のオーディオを求め続けてきたオンキョーが、自信をもってお届けするハイコンポの傑作。フルサイズコンポなみのハイクォリティと、今と将来への多彩な発展性。高い完成度をもつ単品群と豊富なオプション類が、上質なコラボレーションのように自在なサウンド環境を創り上げます。

持つことの誇りと喜び。インテックが目指すのは、永く付き合うほどその真価のわかるオーディオです。

Premium Sound

その音、オンキョー。



●5.1ch入力装備サラウンドプロセッサー
ED-205(S) 標準価格¥35,000(税別)



●フロアスタンディング型2ウェイスピーカーシステム
D-205F 標準価格¥18,500(1台・税別)



●コンパクトAVスピーカーシステム
D-80 標準価格¥11,000(1台・税別)

●再生専用ポータブルMDプレーヤー
MD-P20(S/L) 標準価格¥36,000(税別)



●アンプ内蔵サブウーファーシステム
SKW-305 標準価格¥30,000(税別)



豊かなサウンドの広がり、あざやかさ、そして躍動感

一見華やかに見える、時代に迎合したデザインやサウンド設計のオーディオに興味はありません。私たちが追求しているのは、いつまでも長く聴いていただける価値のあるオーディオなのです。しっかりと存在感を主張するシンプルで力強いフォルム。そこから生み出される、スピーカーの存在を忘れてしまうような立体的な音の広がり。個々の楽器やボーカルの位置関係や表情までもが有りありと見えてくるようなクリアで鮮やかな音像の臨場感。そして力強く弾むような低音が与える音の躍動感。ハイファイオーディオで培われたオンキョーのテクノロジーを惜しみなく投入し、付加価値の高い音場空間を実現しました。

単品オーディオの条件である独立電源、ピンコード接続はもちろん、アルミパネルや木製キャビネットにいたるまで単独でも使用できる高いクオリティを装備。選ぶ人の嗜好や将来の発展性を考えて、単品ユニットやオプション類も豊富に用意しました。機種選択が自由なうえ、後から追加してシステムアップすることも可能。またプリメインアンプの6系統入力+グライコ、サラウンドプロセッサ、サブウーファー接続、MDデッキの2系統光デジタル入力など、シンプルな組み合わせから、さまざまなデジタル機器やAV機器ともフレキシブルに対応します。メディアが拡大しても使い続けることのできる発展性。それもインテック205のコンセプトです。

Amplifier

デジタル全盛時代 だからこその心臓部がいちばん重要

CD、MD、DVDとオーディオのメディアはどんどんデジタル化が進んでいます。しかしこれによってますますアンプとスピーカーというオーディオの核にあたるアナログ部分のクオリティの高さが重要になってきました。なぜならさまざまなソースが増えても、それらは全てアンプとスピーカーを経由して音楽として再現されるからです。アンプとスピーカーのクオリティこそ、オーディオシステムを組んでいく場合に最も注目して選んでいただきたいポイントなのです。

●ローインピーダンス対応のディスクリットアンプ

単品コンポの代名詞といわれるオンキョーの“インテグラ”アンプの音質へのこだわりを受け継いだ設計手法を投入。上級コンポでは常識のディスクリット設計を採用して、パーツのひとつひとつを厳選し、余裕のある回路構成を築き上げました。1つのパッケージにIC化されたものに比べ設計の自由度が大きく、綿密に練り上げられたサウンドのベースになっています。また、アンプにとって負担の大きいインピーダンス4Ωのスピーカーにも対応。さまざまなスピーカーと組み合わせてもその能力を最大限引きだせる「ドライブ能力」を重視し、単品仕様へのこだわりを追求しています。

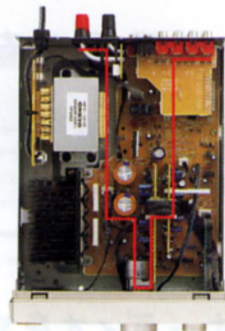
※インテグラ・シリーズは1969年の発売以来、通算販売台数100万台以上の実績を達成しています。



●ワイドレンジ&低NFB設計

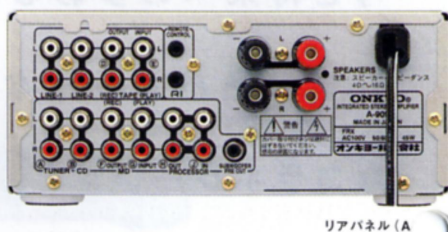
力強い音楽表現を目標とするインテグラシリーズのアンプの設計コンセプトを踏襲して、広帯域化と低NFB(負帰還)設計でつくられています。音楽のダイナミックな魅力をダイレクトに伝える正攻法のテクノロジーです。

●ダイレクトシグナル・コンストラクション

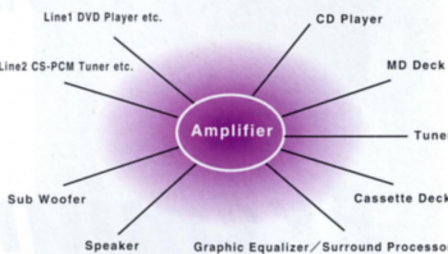


横幅205mmの凝縮されたサイズだからそのメリットの一つが信号経路の短縮化です。基本的に信号の通過する距離が短いに加え、入力端子のすぐ近くにインプットセレクターを配置し、そこからボリュームまでを直線的に結ぶ“ダイレクトシグナル・コンストラクション”を採用。アンプに送り込まれた音楽信号の鮮度を保持したままスピーカーへ送り出します。

●発展性を保証する豊富な入出力端子群



CD、MD、TUNER、TAPE、LINE-1/DVD、LINE-2の6系統入力に加え、グラフィックイコライザまたはサラウンドプロセッサが接続できるプロセッサ入出力やサブウーファー用モノ出力を装備して、さまざまなシステムアップに対応。AVも視野に入れた将来のコンポーネントの発展性を可能にした、インテックならではの未来志向です。



●アコースティック・プレゼンス回路

新しい発想の回路“アコースティック・プレゼンス回路”を搭載。これは従来のSuper Bass帯域よりもさらに低い周波数を自然に増強するもので、音楽の雰囲気感・音場の深みをプラスします。切り替えて選べるBOOSTポジションは、重低音帯域を増強します。



●アコースティック・プレゼンススイッチ(A-909)

Speaker System

50余年にわたって スピーカーの振動板から自社生産

オンキョーは1946年の創業以来、音質にもっとも大きく関わるスピーカーユニットの製造を振動板から自社で行ってきました。それは音質に明確な基準と主張を持ちつづけ、常に次元の高い表現力を追求する、私たちオンキョーのポリシーの現れでもあります。ただ小さいだけのオーディオシステムとは明らかに違う、一線を画した付加価値の高いサウンドは、振動板素

●バイオクロスコーンウーファー&ソフトドームツイーター

ウーファーには、天然の繊維質のなかで最も強靱な“海鞘(はや)”の繊維を木材パルプと混合して漉き上げ、軽量で強度が高く、固有の共振音が少ないという理想の特性を獲得したオンキョーオリジナルの振動板“バイオクロスコーン”を使用。そのなめらかな躍動感あふれる音質はすでに定評のあるところ。また、ツイーターには繊維の素材や太さから検討してつくりあげたソフトドーム型ユニットを採用。あざやかに伸びのある高域を再現、さらにD-102AX/D-102AXLTDでは振動板の強度を高めた新開発の素材を用い、透明度とエネルギー感を同時に向上させています。

●MDFキャビネット

キャビネットには材質からこだわり、密度が高く響きのよい木材(MDF)を採用。高純度かつ重厚で安定感のある音質を実現しています。仕上げはインテとの調和を重視したナチュラルな木目仕様。特にD-102AX/D-102AXLTDでは、リアルウッド(天然木)の突き板仕上げと、入念な塗装により美しい光沢を得ています。



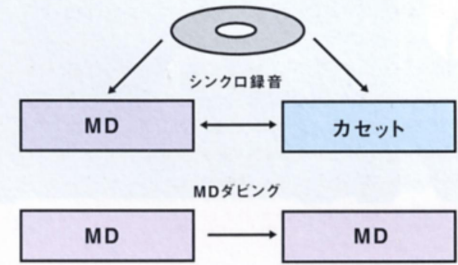
CD Player & MD Deck

デジタル機能を フルに生かした高い操作性

インテック205シリーズのデジタルコンポーネントは、高水準のサウンドであることはもちろん、MDならではの快適な使いごこちや、205シリーズのCDプレーヤーとのシンクロ連動機能、さらに拡大するデジタルメディアとの対応能力など、発展性を含めて、高性能と操作性を両立させました。

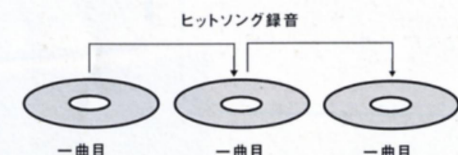
●シンクロ録音機能

CDプレーヤーとMDデッキを光ケーブルで接続すれば、連動した快適なデジタルダビングが可能です。また、インテック205シリーズのシステム接続では、録音機能をREC/PAUSE状態にして、再生機のPLAY操作だけで録音は始まり、再生終了時にもシンクロして自動的にストップします。CD→MDだけでなく、CD→カセット、MD→カセット、カセット→MDの全方向でシンクロがはたらき、すべてのパターンで簡単操作によるダビングがおこなえます。また、インテック205シリーズ以外の機器とMDとの連動録音に便利な“シグナルシンクロ録音”機能をEDITモードの中に設定。このポジションではシリーズ以外の機器の信号を検出して録音を開始/停止します。この機能を使えば、例えばポータブルMDを視座にしたMDtoMDダビングがシンクロ録音でき、MD編集の楽しみがグンと広がります*。(※この場合、MDtoMDのダビングはアナログ録音になります。)



●TR-1モードによるヒットソング録音

CDシングルからMDやカセットへのヒットソング録音に便利なのがCDプレーヤーに搭載の“TR-1モード”です。このスイッチをONにしておけば、ディスクの1曲目だけを再生するので、シングルCDからのヒットソング編集が簡単にできます*。3CDチェンジャーのC-707CHでは、演奏中もディスク交換が可能のため、3枚以上にわたっての連続ダビングも可能です。(※“TR-1モード”では、CDの時間情報によって、5曲未満で27分未満のディスクをシングルCDと判断します。5曲以上、もしくは27分以上のディスクはアルバムと判断して全曲演奏します。)



●サンプリングレートコンバーター搭載 &2系統光デジタル入力

インテックシリーズでは早くからMDのデジタルソースに対する発展性に注目して、サンプリングレートコンバーターを搭載してきました。48kHzや32kHzといった異なるサンプリング周波数をMDと同じ44.1kHzに自動変換するサンプリングレートコンバーターにより、BS・CSなどのデジタル衛星放送やDATからのデジタルダイレクトダビングが可能です。それらのメディアとCDを同時に接続できる2系統の光デジタル入力も装備。今後ますます拡大するデジタル時代への対応もインテックの先進性の証明です。



Tuner

快適操作のプログラムタイマー 内蔵チューナー

インテックシリーズのチューナーは、高感度受信能力だけでなく、システム全体をコントロールして快適な「音楽のある生活」を演出するプログラムタイマー機能などの操作性ももちろん重視しています。シンプルな高音質システムにチューナーをプラスすることで、オーディオを使いこなす場面が広がっていくことでしょう。

●さまざまな快適機能

T-405Wには、ワンタッチ操作で受信可能局を記憶する“オートプリセットメモリー”機能を装備。MEMORYキーをAUTO表示が点滅するまで数秒押し続けると自動的に感度のある局をサーチしてFM20局/AM10局まで記憶します。また、205シリーズの各機器をコントロールするウイークリープログラムタイマーを内蔵して、曜日別の目覚まし再生、曜日指定録音(1回)が可能。※プログラムタイマーの動作にはT-405WとA-905/909/909LTDとの接続が必要です。また、インテック205シリーズ以外の機器をコントロールすることは基本的にできません。

